

街なか通信 かたりば 第4号

町では、今年度から街なかの活性化を図るための各種取組みの検討を開始しました。今回、第2回分科会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

第2回分科会

日時：令和4年10月18日（火） 19時～21時

場所：下仁田町役場 201会議室

内容：第1回分科会で出たキーワードの深掘り ほか

参加者：分科会員 8名（町内在住者、ねぎとこんにゃく下仁田奨学金生、移住者ほか）

分科会の内容

1. 町からの報告

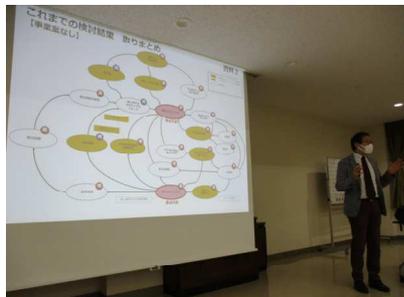
事業スケジュール、これまでの検討結果（ループ図の提示） ほか

2. グループワーク

参加者を2班に分けて、街なかに人を呼び込むために必要な仕掛けや事業、サービス（新たなビジネスが生まれる可能性）について議論。

分科会の様子

分科会員から具体的な事業提案があるなど、活発な意見交換の場となりました。



これまでの検討結果の説明



提案を付箋に書き込む参加者



提案を発表する参加者

分科会で出た主な意見等

- 街なかに人を呼び込む仕掛けの1つとして、**既に街なかにある『衣・食・住』のコンテンツを活用したイベント**が挙げられました。
例：古民家を活用した移住体験、飲食店を絡めたイベント、既存飲食店・商店の営業時間のスキマ時間を狙った「朝マルシェ」などの提案がありました。
- 街なかに人が集まることによって、**新たなビジネスが生まれる可能性があり**、その際は、**新規店舗を地域に集約させることが重要**との意見がありました（街の雰囲気が変わり、活気生まれる）。
- そのためにも、**①利用可能な空き家・空き店舗の把握**、**②出店者と物件の持ち主とのマッチングが重要**になるという意見が出ました。

➡ **これまでの検討結果を踏まえ、各種事業を計画に落とし込んでいく予定です。**

【概要版】グループワークの結果（一例）

1班

テーマ:街なかに人を呼び込む仕掛け

衣	昭和レトロコスプレ (白黒写真)	若者に優しいまちをアピール	ステイ体験	若者ステイ (お年寄りのところへ)	シェアルーム体験	町なか鬼ごっこ	How to ~ 伝統的な技術を体験できる
	はしご飯 何軒行けるか	狩猟体験 イベント		地域の人と触れ合う機会をつくる	下仁田有名人 探し	アウトドア新製品 体験会	たまにはのんびり一人旅 日常のPR
食	下仁田駅バル	ジャズ イベント	こんにゃくの良さがアピールできるイベント	タケノコ掘り体験	妙義山ヒルクライム 下仁田駅スタート	妙義山ドリフトフェス	下仁田学 No. 1 検定
	屋台村 祭りのような雰囲気	下仁田マルシェ ワークショップ	スウェーデン村のように180°まちの雰囲気を 変える！ インパクト！	あえて汚くてもOK ペットと泊まれる宿			
住	街なかに住みやすいを活用すべき	1人暮らしをしたい人がターゲット	建売物件 住宅展示	空き家を町営住宅として利用	開催場所	駅舎の雰囲気	駅から近い場所がいい
	空き家の中で住める物件の把握	内見イベント	移住体験住宅	奨学生を優先的に町営住宅に入居		こんにゃく道場駐車場 役場の駐車場	

2班

テーマ:新たなビジネスの可能性

条件	Uターン (奨学生) 若者	20~40代 オーナー	コンテ ンツ	夜オープンしてくれる店	音楽
	中が見える	看板のあかり		元気よく あいさつなど 独特なルール	初めて来た人でも入りやすい雰囲気
まちへの 展開	街なかレトロ物件	古い商店を活用	ふらっと入れる店	テイクアウト たいやき	
	駅前エリア	集中させる	ショップの 集合体	高校生の 集う場所	カフェ (甘味処)
本格経営 に向けて	物件案内人	物件の あっせん	若いスタッフ	物産館 お土産ショップ	
	ショップ 買取り	家賃を変動	物件めぐり	憩いの場	朝〇〇 朝食を提供
支援	リノベ補助	セミナー	オーナーへの アクション (働きかけ)	企業支援 (金・知識) 地元・首都圏	ネットでの 情報発信
外から人 を呼ぶ	多様な経営に 対応	ショート期間 の募集	シェア ショップ	マッチング イベント	先行事例
期待	Uターンが 受け皿	とがった サービス	自立した ビジネス	景観は 守りたい	勝手にビジネスが生まれる 土壌